



試錐孔の自噴

試錐孔の自噴

地下の地質状況を明確に知るために試錐調査が実施される。これはコアを採取して、地質の層序をはつきりさせることと岩石変化の観察がおもな目的であるが、このほか掘さく中に温泉脈・蒸気脈・地下水脈などに遭遇して孔内から自噴を開始する場合がある。

これには瞬間的に空高く噴き上げる熱湯および噴気井型のもとの、次第に増量しながら湧出してくる地下水および底温型の温泉のもとの、2通りの現象が見られる。

この写真は後者に属する自噴で、宮城県鬼首地熱地帯の地質ボーリング調査のときに見られた湧出状況である。

当時の掘さく深度は 255m、湧出圧 5kg/cm² 以上、湧出量は約 1,000l/毎分であった。

所内 第3回 写真コンクール入選作

技術部試錐課 高橋 稗

創立75周年スポット・ニュース

わが国で初めて行われた地質調査は 文久2年(1862年)に蝦夷奉行がアメリカ人 W.P. Blake・R. Pumpelly らを招へいして行つた渡島・後志の調査である 明治10年(1877年)に和田維四郎が甲斐・伊豆の地質を調査したが これは内地における地質調査の最初である

・・・地質調査所の出版物・・・

。地質調査所月報 (第8巻 第4号)

報 文

梅本 悟・渡辺 芳次: 北海道渡島国桂岡鉄山北方地域地質鉍床調査報告
比留川 貴・後藤 隼次・池田 喜代治: 岳南地域工業用水源調査報告

東海地域調査 第10報

概 報

原口 九万: 兵庫県多可郡下の銅鉍床
一特に樺阪・金蔵両鉍床について

雑 報

宮崎県五ヶ瀬川水系祝子川ダム地点地質調査報告
宮崎県網ノ瀬川電源開発堰堤附近地質調査報告
岡山県和気水銀鉍床調査報告
鹿児島県額娃町前原地区砂鉄鉍床調査報告
高知県高岩鉍山磁硫鉄鉍床調査報告
奈良県五条鉍山金屋淵・立里鉍床概査報告

資 料

鉛のアイソトープとその地球化学的意義について

。地質調査所月報 (第8巻 第5号)

報 文

中沢 次郎・丸山 修司: 大分県国東半島の含チタン砂鉄鉍床調査報告

岩崎 章二・金井 光明: 福島県石川町周辺地区放射能探査報告

佐野 凌一: 北米合衆国およびカナダにおける核原料物質探査技術

概 報

原口 九万: 兵庫県安井鉍山鉛・亜鉛鉍床調査報告

資 料

造構造運動史と関連性のある Russkii Plate-forme 地帯の堆積岩の組成について